

フロムサウス

from SOUTH

2020年
vol. 35 6月25日発行
長崎県立長崎南高校関東同窓会
会報



▲イラスト 小玉修作(7回生)

長崎南高校関東同窓会(幻)総会

夢の中でDANCING ALL NIGHT

MAHARAJAが 呼んでいる 2020夏

第 30 回長崎南高校関東同窓会幹事回生 上原隆宏 (17 回生)

【華やかで明るい同窓会】

20年前、「7」の回生が幹事の会から同窓会に参加しております。

昨2019年、翌年の幹事ということで紹介いただき、7回生である前田先輩からは「本来は世代交代で27回生に参加してほしいのだけど、17回生を中心に」と言われました。

年に数回、十数名が集まる17回生。昨年の忘年会でまずは幹事代表と司会を古川君、田浦君と決めて、私が企画をやることに。17回生は還暦を迎える年であるし、東京オリンピックもある。折角だから「体を動かし、みんなで楽しめる、華やかで明るい同窓会」というテーマで企画することに決めました。

【じゃ、どこで何を】

僕ら17回生は、80年に長崎南を卒業した世代。アメリカ西海岸の West Coast のモラトリウム、若者文化、ロンドンを中心とした新潮流 New Wave、大人社会を批判する Punk・・・と、世代を表す言葉の枚挙に暇はありません。多種多様な文化を享受する開放的な社会で学生時代を過

し、社会人になって数年すると今度はバブル時代に突入。今の若い世代では想像できないような、ポジティブで、明日も、その先も明るい未来があるというような華やかな時代を享受した世代です。その時代を象徴するもの・・・私が考えると、答えは一つ。「ディスコ」でした。

学生時代は六本木のディスコに週に2回は通い、行きつけのお店では頼まれて「黒服」を半年くらいやっていましたし、今でもクラブやディスコに顔出すほど踊ることが好きで、特にディスコの雰囲気は大好きです。

そこで、2020関東同窓会はディスコパーティにしようと、17回生の仲間周知して、企画を確定しました。

【会場どうしよう】

しかし、参加人数や雰囲気考えると、同窓会に最適なところを探すのはなかなか難しい。

数年前に日比谷の DIANA で同窓会をやった記憶があったので、参加人数からも箱として最適と、DIANAでの開催を考えました。会社が近かったこともあり、会社

の若手を連れて行っていたこともありまし
た。

まさか、そのDIANAが、昨年12月
31日のカウントダウンパーティを最後に
閉店となったとは知りませんでした。

そこでいくつかのお店にあたった結果

「MAHARAJA 六本木」に決めたのです。

JulianaTokyo ができる前、六本木のデ

スコーションでは一番のお店で、皆さんもよ

くご存じだと思います。80年代に麻布十

番でMAHARAJA TOKYO オープンし、

その後閉店や再開を経て、2010年から

「MAHARAJA 六本木」でオープン、さ

らに移転で多少狭くはなっていますが、バ

ブル世代である40代〜50代のお客が多く、

仲間感覚でいつも楽しい時間が過ごせる雰

囲気のお店です。

【ショータイム、どうしよう】

皆さんも聞けば知ってる、勝手に体がり

ズムを刻む70年代〜90年代のナンバーを

17回生で選曲し、当日はDJも用意しま

した。また、ショータイムで17回生ダン

サーを用意して、皆様を盛り上げるよう

に、練習も始めておりました。

【コロナ感染による同窓会延期】

企画内容を同窓会事務局に提出し、開催
日時も決め、会場準備を進めてきました
が、コロナ感染拡大に伴い、残念ですが、
開催を見合わせるようになりました。

現在、緊急事態宣言は解除

されましたが、東京ではまだ

まだ新たな感染者が発生する

予断を許さない状況が続いて

います。私も感染には細心の

注意を払って勤務を続けてい

る状態です。

皆さまも自愛ください。関

東同窓会開催が可能となった

あかつきには、楽しい時間を

皆様と共有できるように幹事

回生は頑張ります。そのせつ

は、参加をお願いいたしま

す。

Now a day considering the current situation ,
I want to tell you, See You Soon

<マハラジャのホームページ>

5月25日に政府より緊急事態宣言の解除が発表されましたが、東京都のロードマップに
おける休業要請緩和のステップに沿い、マハラジャ六本木は当面の間休業を継続いたします。
営業再開につきましては、公式ホームページ・各SNSにてご案内させていただきます。

新型コロナウイルス感染の終息と、皆さまの健康と安全を心より願っております。

お客様をはじめ、皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

勝弘の小屋

コロナ禍に思うこと

長崎南高校関東同窓会会長

江 勝弘 11回生

人類の歴史の一部がウイルスとの戦いであったことを考えると、今回のコロナ騒ぎは意外ではない。しかしながら交通の発達がウイルスの伝播力を拡大してしまい、瞬く間に世界中に広まったのには驚いた。今も苦しむ人が多いことを考えると、いたたまれない思いになる。

*

ところで、私は医者でも免疫学者でもないで、以下の文章はたわごとだと思っしてほしいが、私は今回のウイルスは主に「空気感染」すると思っている。感染の仕方に「エアロゾル感染」があると言われだし

たのは、今年の3月頃だったと記憶する。エアロゾル感染を調べると、空気中にただようウイルスを吸い込むことによつて感染するという解説に行き着く。

私に言わせると、これは空気中から感染するので「空気感染」に他ならない。歴史をひも解くと、スペイン風邪が病院の換気扇を通じて離れた病棟の患者にうつったことがあることがわかる。つまりスペイン風邪も空気感染した事実があるのだ。

*

私の懸念は、学者も政治家もこのことをよく知っているが、本当のことを言うとはパニックになるので伏せてきたのではないかということだ。もしそうだとすると、真実を隠した人間は罪深いと思う。何故なら、空気感染すると思ったら違う行動を取り、感染もしないし死なずに済んだ人がいると思うからだ。何故3密を避ける必要があるかという「空気感染」するのが恐ろしいからだ。私にはそう思えて仕方がない。

*

私はビジネスの世界に長く関わっているが、事件や不祥事が起きた時に一番被害が少なくすむ方法は、事実を知ること。フアクト・ファインディングをし、それを公表

することだった。下手に自分や会社の立場を守ろうとして小さなうそをつくともっと大きなうそをつかないとつじつまが合わなくなり、最後は破綻をするという経験もした。今回、同じような事態になつていないことを望むのみだ。どうか私の懸念が間違っているよと誰か教えてほしい、と思う今日この頃である。

長崎との「縁」を求めて

小岩寿樹 (10回生)

今年3月に、念願の「長崎歴史文化観光検定」の1級を取得することができました。これもひとえに、南高OBの方々、長崎ビードロ会、それに長崎くんち塾のメンバーのおかげだと思っています。

もともと、長崎のために、東京で長崎がよりメジャーとなるような活動をしたいと思っていました。そのためには長崎

のことを知らなければならぬと勉強を始めたのがきっかけです。

その中でいくつかの発見があり、長崎との「縁」を感じています。

長崎の松ヶ枝にある「旧香港上海銀行長崎支店」は下田菊太郎の設計で、国の重要文化財に指定されていますが、その中に「梅屋庄吉ミュージアム」が併設されています。

梅屋庄吉は、自分の財をなげうって、中国の孫文の革命を助けた長崎の偉人で、数年前、柳葉敏郎が主役を務めたテレビドラマになりました。

ある会で、梅屋庄吉のひ孫、日比谷松本樓の社長さんにお会いした折、「庄吉の東京の屋敷は、新宿区の大久保駅の近くにありました。今は『学生の家』という建物になっています」と言われた時、私の頭の中に「！」が3つ灯りました。

私は、大学時代から男声合唱を始めて、今でもOB会で歌い続けていますが、毎週火曜日の夜に集まって歌う場所が、その「学生の家」なのです。

「学生の家」は宗教法人が経営していて、日曜日にミサが行われる礼拝堂が、我々の練習場で、その他には、テニスコート

や学生寮、それにキリストの十二使徒の名前を冠した「トマス外語スクール」などがあります。

先日、いつもお世話になっている受付の女性に尋ねたところ、「ここは、以前、梅屋庄吉さんという実業家の邸宅があったところですよ」と明確に答えられました。それを聞いた時には、なんとなく嬉しい気持ちになり、長崎との「縁」を感じました。

二十六聖人について調べたことがありました。西坂に立つ教会は、メキシコからの多額の寄付があり、殉教したメキシコ人のフランシスコ会修道士の名前をとって「聖フィリッポ西坂教会」と名付けられています。

フィリッポ・デ・ヘスはフィリピンで修業し、メキシコへの帰国途中に、船の難破で日本に漂着し、京都で布教活動をしていた時に捕らえられて処刑されました。そのままメキシコに帰ってあれば、司祭の道が約束されていたのでしょうか。運命とは皮肉なものです。彼は、メキシコ人初の聖人となりました。

西坂の二十六聖人像の前の広場には、私も小学生の頃に、よく港の絵を描きに

行きましたが、あの記念館と教会を設計したのは、私が通った大学の先輩・今井兼次先生であることを知りました。アントニオ・ガウディの影響を受けたと言われているあの尖塔には、奇妙な感覚を持ったものです。

しかし、その今井先生が大学の敷地内に建てた「演劇博物館」の前で、先生と長崎の「縁」を知らなかった若者は、無礼にも、よくタバコを吸っていました。

長崎市の市報5月号は、私の母校・江平中学校が表紙で、懐かしく拝読しました。来年3月で廃校となりますが、私の通学路の途中に、「片足鳥居」や「被爆クスノキ」で有名な山王神社があります。毎日、その前の道を通っていましたが、なんとその道こそ、昔の「浦上街道」で、二十六聖人が、時津から西坂まで歩かされた道の一部なのです。当然中学生の私は、何も知らずに歩いていました。

長崎のことを知れば知るほど、自分と長崎の歴史やそれに関わった人々との「縁」を感じずにはいられません。これをゴールとせずに、これからも新しい「縁」を求めて、より精進して行きたいと思っています。〈了〉

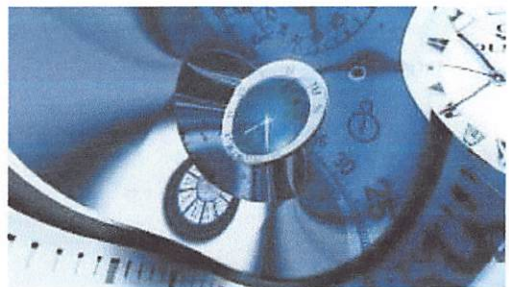
2019年夏

アラスカ気分



同窓会は タイムマシーン

荒木 信康



久しぶりに会ったのに、ついこの間まで
会っていたような？今なのか昔なのかを錯
覚する非日常、不思議な体験だった。

「同窓会は大人の嗜み、自分達が楽しい
ようにやればいいんだよ」、という先輩方
からの励ましの言葉で関東同窓会の準備は
始まった。その後も事ある毎に沢山のこ
支援やアドバイスを頂き、先ずは心より御
礼申し上げます。

当初は片手で足りる程のメンバーに不安
を抱きながらも、たまたまの横浜在住系女
子の強力な後押しがあり、同級生の輪が広
がり、長崎の幹事や旧友らとも密に連携、
会の準備と称して帰省したりして企画や進

行が決まっていく。普段は隔週末に2時
間限定で濃密な？打合せ、それ以外は専ら
スマホに依存し頻繁に遣り取り、家族に注
意されるほどいじり倒した…。お陰で
今でもSNS等で連絡がとれるようになって
たことはとても嬉しい。

2020年5月現在、首都圏は目下、緊
急事態宣言のさなかである。解除後も密
閉、密集、密接を避ける暮らしは続くのだ
ろう。でも、この機会に再会でき、少し
だけ密になった同級生との仲は、このまま
大切にしたい。疎遠になるのはち
よっと寂しい。

準備は 部活だ！

鎌田 美穂

「主幹事」は26回生！と聞いて心身動
きました！

26回生の私は関東に来てまだ20年ほど
です。大学生活は広島、就職は滋賀、子ど

もを出産直後から横浜に移り住み今に至ります。

ふと沸き上がる郷愁の想いはいつもありました。特にここ数年でしょうか。そのため26回生が2019年関東同窓会の主幹事であるという旨の葉書を16回生中島さんからいただいて、すぐに返信しました。関東にいる南高同窓生に会えるかな？という想いからです。

2018年9月に、26回生幹事リーダーの荒木さんと卒業後初めて、まさかの横浜で会い、それから2019年7月開催の関東同窓会の幹事を遂行すべく関東在住の南高26回生の大搜索が始まります。

リーダーの荒木さんはもちろんですが、久米（旧姓）光さんの人脈、搜索力に助けられ、当日までに実行部隊十数人が集まりました。



準備は中島さん、7回生前田さんに多大なご助言、ご協力いただきながら進めました。コアなメンバーの荒木信康く



ん、中村（旧姓）昭子さん、淑美ちゃん（旧姓…大西）、光ちゃんと私は「部活」と称して、毎週のように各自の予定を調整して横浜で集まり、時には東京まで遠征したりして、いろいろ決めていきました。

来賓の先生どなたにしよう（今回は川下先生にお願いしました！ 連絡とるの大変でしたよね。でも来ていただけて良かったです。）、南高への連絡、催しどうする、などなど。その時は必死でしたが、今思えば大人の「部活」、皆で同じ目標に向かって

集うのって楽しいかったなあ。

諸先輩方には、準備期間の居酒屋「ぶらり」での懇親会や、当日たくさんさんの応援や暖かいフォローいただいて、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、関東同窓会を通して長崎南高校の先輩、同級生、後輩に会えて、お話できたこと、このような機会に感謝したいと思います。

現在、新型コロナウイルスで、飛行機ですぐ長崎に帰れない状況ですよね。そのためか、さらに郷愁の念が強くなっています。が、関東に皆さんがいると思うと、顔も浮かぶし、なんだか心強いです。こーし安心できています。ひとり勝手にですが…

また会える日が楽しみです。

50歳からが 第二の人生

小山 陽子

結婚後、夫の仕事の都合で全国を転々

とした後、長崎市内に7年間住んでおりました。長崎にいと、長男の高校の校長先生が数学の田川先生だったり、次男の高校の前任の校長先生はやはり数学の米倉先生だったり。また運動会では、保護者の中かなりの数の南高卒業生がいたり、やっぱり長崎は狭いと、久しぶりの地元感覚を楽しんでいました。

しかし、昨年の4月に東京に引越してきて少し心細い気持ちでいたところ、同窓会に誘われ、上京後わずか3カ月で、関東同窓会に参加させていただくことになりました。

同窓会の1週間前に、26回生が10人ほど集まり準備をしたのですが、何せ、卒業してから30年の月日が経っています。事前に卒業アルバムを見て、顔と名前を確認して行きましたが、それでもお互いわかるのかとドキドキでした。

しかし実際会うと、高校時代の昔話に花が咲き、30年の月日をタイムスリップしたような感じでとても楽しかったです。

同窓会当日は、関東同窓会事務局の皆様や、先輩方のご協力と、26回生幹事の荒木信康君の奮闘により、慌ただしくもとても楽しい時間を過ごすことができました。

た。

私たち26回生は、今年で50歳の節目の歳になります。私は、正直いうと50歳になるのが嫌でしたが、同窓会で先輩方の活き活きとした姿を見て、なんだかこれから先の人生が楽しみになりました。同窓会は、第二の人生を楽しみむきつけになるかもしれません。

次回幹事の皆様も、ぜひ楽しんでください。
(旧姓 居原)



♥ 26回生の皆さんありがとうございました。

編集後記

令和2年は世界的なコロナウイルスの感染により東京オリンピックの延

期から、街の居酒屋さんの営業自粛と人間の活動が止まってしまいました。ようやく「爆発的な」感染は治まりそうですが、人間の経済の活動は、恐る恐る始まりそうな気配です。身近などでは多摩川ハタアゲ大会の中止、本校の吹奏楽部の定期演奏会、関東同窓会総会の延期と、予定がまったく立たなくなっていました。早く検査が受けられるように、また

幻のフロムサウス 2020年6月25日発行

<http://www5.plala.or.jp/nagaskinokane/>

年会費 2000円 よろしくお願ひします

郵便振替 00100-3-770531

長崎南高校関東同窓会

たワクワクが承認されて不安を払拭されることを望みます。そして改めて、新しいそれぞれの企画が実行されることを楽しみにしたいと思います。
(前田幸司)

